

4 平成27年のハタハタの漁獲状況について

水産漁港課

今期ハタハタ漁の漁獲枠は昨年の約半分の800トンで、その内訳は沖合320トン、沿岸480トンとなっている。

これまでの漁獲状況等は次のとおりである。

1 漁獲状況について

- 沖合は、9月13日から12月7日までの漁獲量が約254トンで、漁獲枠320トンに対し約79%となっている。前年同期比は約119%であるが、前々年同期比では約56%となっている。
- 沿岸は、11月29日に初漁日を迎えており、12月7日までの漁獲量は約156トンで、漁獲枠480トンに対し約32%となっている。前年同期比は約80%であるが、前々年同期比では約58%となっている。
- 魚体の組成は、中型の2歳魚が主体で、これに大型の3歳魚と小型の1歳魚が混じっている。

[地域別漁獲量]		(単位：トン)		
地	域	平成27年	平成26年	平成25年
沖 合	県北部	74.5	59.0	126.8
	船川	94.0	99.1	185.1
	県南部	85.7	54.8	140.0
	12月7日現在の計	254.2	212.9	451.9
	最終実績(漁獲枠)	— (320.0)	285.0 (672.0)	624.0 (768.0)
沿 岸	県北部	26.3	32.4	54.9
	男鹿北	71.5	90.1	90.7
	男鹿南	57.7	70.8	115.7
	県南部	0.3	0.8	7.8
	12月7日現在の計	155.8	194.1	269.1
最終実績(漁獲枠)		— (480.0)	940.0 (1,008.0)	898.0 (1,152.0)
最終実績計(漁獲枠)		— (800.0)	1,225.0 (1,680.0)	1,522.0 (1,920.0)

(水産振興センター調べ)

2 今後の漁獲状況について

- 沖合は、漁期が平成28年6月までとなっているが、今後は沿岸が主体となることから、漁獲量は320トンの漁獲枠内になるものと見込まれる。
- 沿岸については、盛漁期を迎えたことから、引き続き正確な漁獲量の把握等に努めていく。